

可児市内大森発生土仮置き場における環境の調査及び影響検討の結果について

○委員からの意見等及び事業者の対応等

【林委員】

No.	頁	意見の箇所	意見等	事業者の対応等
1-1	2-4 2-6	廃土処理	廃土の岩石・土壌に含まれる重金属等は「測定をする」とありますが、予察的なデータでもないでしょうか。	発生土仮置き場に搬入する区分土において、一部、美濃帯（粘板岩）が含まれると想定しています。過去の事例から、美濃帯（粘板岩）は、黄鉄鉱が含まれている可能性があり、黄鉄鉱を含む地層を掘削した場合、掘削土は水及び空気と反応することで酸性化し、その過程に生成される酸性水が発生土に含まれる自然由来の重金属等を溶出させる可能性があるかと想定しています。
1-2			廃土から浸み出す基準内の「排水」量はどの程度を予測し、どのような運搬車で運ぶのでしょうか。この車の記載は何処にありますか。また、「産業廃棄物として処分」の場合は、何処に運ばれ、どのような処分がされるのでしょうか。	集水タンクに一時貯留した滲出物は、散水車等にて工事施工ヤードまで運搬します。資料編 環1-2-1にその旨追記します。産業廃棄物の運搬先は、検討中です。
1-3			重金属の含有量により異なるとは思いますが、廃土の最終的な処理はどのようになるのでしょうか。	仮置きした区分土は、恒久的な発生土置き場（遮水型）等に運搬し、当該地にて遮水構造による封じ込めを行います。
1-4			雨天時は作業盛り土を遮水シートで覆うとありますが、作業中に降雨がある場合はどのようにするのですか。	作業中に雨が降る場合は、発生土仮置き場での作業を中断し、遮水シート等で盛り土を覆います。なお、現場に施工業者が常駐しており、早急に対応することが可能です。
1-5			豪雨による河川（沢）の土石流や地震動による液状化の可能性はかなり低いと思われませんが、いわゆる災害の発生時に対する対策について何か検討をされたのでしょうか。	可児市内で震度4以上の揺れを伴う地震が発生した際には工事を一時中断し、巡回点検を行い、異常を確認した場合には、関係機関に連絡するとともに、安全の確保に必要な措置を実施し、その内容について関係機関に報告する等の対策を検討しております。また、異常時の対応については、後に公表します環境保全計画書にて記載します。

【伊藤委員】

No.	頁	意見の箇所	意見等	事業者の対応等
1-6	資料編(非公開版) 2-1-1	表 鳥類確認種一覧 (文献) 確認調査 夏季	調査は平成25年の夏季に行っただけなのか。具体的な調査期間、時間帯がわからない。調査方法を聞きたい。	審査会にて提示します。
1-7	資料編 環3-1-3		繁殖期間だけを対象にしたように見受けられるが、越冬期間も含めた周年で調査してあるのか、お尋ねしたい。	審査会にて提示します。
1-8			11/14に現地を訪れたが、想像していた環境と異なっていた。資料として写真を添付していただきたい。この日にはハシボソガラス1とハイタカ1の争いを12:01頃に観察した。	現況写真を用意し、審査会にて提示いたします。

【高井委員】

No.	頁	意見の箇所	意見等	事業者の対応等
1-3	3-3	表3-1-1(3) 調査及び影響検討項目	「すでに改変された範囲であり現地の状況から非選定とした」とあるが、環境省および岐阜県が共に絶滅危惧II類に指定しているツマグロキチョウ(昆虫類鱗翅目)は、本来河川敷などの氾濫原に生息していたものが生息環境を失い、造成地などに進出して細々と命脈を保っており、今回の大森発生土仮置き場のような環境は、十分に生息が可能であるので、調査対象とするべきだった。	他事業者により取りまとめられた「大森残土処分場計画に伴う自然環境調査報告書」を引用しております。
1-4	資料編 3-1-4	表3-1-3 昆虫類確認種一覧(文献)	資料編においてトラフトンボとハネビロエゾトンボのみが言及されているが、仮置き場および隣接する笹洞溜池や新田地区(星見台含む)からは過去にギフチョウ(環境省絶滅危惧II類、県準絶滅危惧)、ゲンバイトンボ(環境省・県共に準絶滅危惧)、オグマサナエ(環境省絶滅危惧II類、県情報不足)、マダラナニワトンボ(環境省・県共に絶滅危惧I類)、ヒメヒカゲ(環境省・県共に絶滅危惧I類)が記録されている。当該地域では既に絶滅している種もあると思われるが、重要種が多いことから、より慎重な調査が必要ではないかと思う。 なお上記の過去の記録は次の文献による。岐阜県昆虫分布研究会(2013)岐阜県昆虫目録I	